新コスモス電機の"今"をお届け 2025年5月

地球の未来に、最先端の安全を。



2025年 大阪・関西万博会場の 安全対策として

PD-12が多数 設置されています。 クリーンな エネルギーとして 注目されている 水素の検知にも 活用されています。

濃度表示機能付 ガス検知部

PD-12

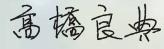
詳細はP.8注目製品をご覧ください。

世界中のガス事故をなくしたい

新コスモス電機株式会社は設立以来、独自のガスセンサ技術を用いて家庭用ガス警報器、工業用定置式ガス検知警報器、携帯用ガス検知器、さらには住宅用火災警報器、ニオイセンサとその応用商品を開発し、ご家庭から幅広い産業の分野で安全・安心・快適のためにお使いいただいております。

私たちの設立当初からの「世界中のガス事故をなくしたい」という想いは、昔も今も、そしてこれからも変わることはありません。命や財産を守る保安機器をお届けする。お客さまのニーズにお応えする商品やサービスを提供する。時代の一歩先を見据えた柔軟な発想でオンリーワン商品を開発する。私たちは挑戦という歩みを止めることなく、社会に貢献できる商品をお届けしているという誇りと使命感を持ち、着実に進んでいきたいと考えています。





Yoshinori Takahashi

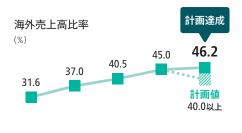


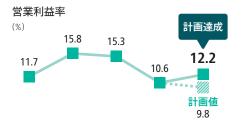


新コスモス電機グループ 中期経営計画 2022-2024の振り返り

定性目標 「新たな挑戦、新たな価値創造に取り組み、持続可能な成長軌道を歩むための第一歩」と位置づけ、 「お客様に選ばれ社会に役立つ新コスモス電機グループ」を目指す







2021年 2022年 2023年 2024年 2025年 3月期 3月期 3月期 3月期

2021年 2022年 2023年 2024年 2025年 3月期 3月期 3月期 3月期



🔄 世界トップレベルのガスセンサ生産能力

新コスモス電機グループは、ガスセンサの生産能力および開発において、世界トップレベルを誇っています。

世界最大級のガスセンサの研究開発・製造設備であるコスモスセンサセンターに加え、2025年に開設した淀川工場、そしてグループ会社であるフィガロ技研の工場を擁しガスセンサの量産体制を確立しています。近年は、生産工程のさらなる自動化を進めることで、高い品質と安定供給を実現しています。





コスモスセンサセンター(兵庫県三木市) 淀川工場(大阪府大阪市)



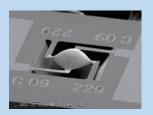
🧣 独自のMEMSガスセンサ

ガス警報器やガス検知器の心臓部であるガスセンサは、コス モスセンサセンターで基礎研究から行っています。

中でもMEMS*技術を応用することで、大幅な小型・省電力化を実現した「MEMS熱線型半導体式センサ」は、当社独自の技術であり、低コストで量産性に優れています。現在、MEMSガスセンサのラインナップ拡充に向け研究開発を進めています。

*MEMS: Micro Electro Mechanical Systems





MEMS熱線型半導体式センサ

センサ素子は0.1mm四方で、体積1/500、消費電力1/600(当社従来比)を実現

Topics!















需要増に対応し、MEMS-CHセンサの生産体制を拡充

MEMS-CHセンサは、当社独自の熱線型半導体式センサ(CHセンサ)にMEMS技術を応用することで、大幅な小型・省電力化を実現したガスセンサです。このセンサは主に家庭用の電池式ガス警報器に搭載されており、家庭用ガス警報器の需要が増えている北米市場をはじめ、世界中のガス事故をなくすために重要な役割を担っています。

MEMS-CHセンサのさらなる生産拡大に向けて、2025年1月に新たな生産拠点として淀川工場を開設しました。この工場では、従来の生産拠点であるコスモスセンサセンターと比べて、自動化をさらに推進しています。また、クリーンルームでの作業工程を増やし、高品質なセンサ製造を実現しました。2拠点体制となったことで、従来の生産能力の2倍以上を確保できる見込みです。さらに、部材運搬等の用途で自動走行搬送ロボットを導入するなど、今後さらなる生産の効率化を目指します。



センサ本部 センサエ場 **宮田 健史**

事業のご紹介

家庭用ガス警報器・住宅用火災警報器

1964年に、世界で初めて家庭用ガス警報器を開発。これまでに累計7,500万台以上を販売し、国内トップシェアを保っています。

住宅用火災警報器分野では、従来の煙センサに加え一酸化炭素センサを搭載 し、火災をより早くおしらせする火災警報器を業界に先駆けて発売しました。

その他、熱中症おしらせやネットワーク機能付きなど付加価値の高い警報器 を数々開発しています。



【LPガス用】ガス警報器



【都市ガス用 ネットワーク機能付き】 ガス・CO警報器



一酸化炭素検知機能付き 火災警報器



工業用定置式ガス検知警報器・携帯用ガス検知器

作業現場でのガス濃度測定をはじめ、爆発事故、中毒事故、酸素欠乏事故の防止など産業の現場における安心・安全をサポート。小型・軽量化やカラー液晶、音声警報、無線機能搭載など現場のニーズに対応した警報器や検知器を幅広く展開しています。



マルチ型ガス検知器



酸素・一酸化炭素計



一点式ガス検知警報器



ニオイセンサ・空気質検知

ガスセンサ技術を活かして、ニオイや室内の空気質を検知する製品を展開し ています。環境管理や品質管理、空調等の省エネルギーなど様々なソリューショ ンを提案し、快適な環境づくりに貢献しています。





ニオイセンサ



換気扇コントローラ

業績の状況 (2025年3月期)

業務用携帯型ガス検知器関連

{売上高:} 6,400{百万円} (前年度比1.7%增)

- 国内市場の都市ガス業界および電力 業界に向けたガス検知器の販売が好 調に推移
- メンテナンスサービスが堅調に推移

工業用定置式ガス検知警報器関連

_{売上高:} 11,993 百万円

(前年度比6.1%增)

- 海外市場の半導体業界向けガス検知 警報器の販売が好調に推移
- 国内市場の半導体業界および自動車 業界などに向けたガス検知警報器の 販売が好調に推移

15.2%

28.5%

連結売上高

42,153

百万円

その他 4.8%

家庭用ガス警報器関連

- 51.5% 売上高: 21,735百万円 (前年度比12.7%增)
 - ニューヨーク市条例による警報器設置 義務化の影響を受け、北米向け電池式 メタン警報器の販売が好調に推移
 - 国内向けの都市ガス用警報器の販売 が堅調に推移

特集: 新コスモス電機グループ「中期経営計画2025-2027」始動

定性目標

MEMSガスセンサ技術を軸にグローバルに展開し、 ガス事故ゼロとカーボンニュートラル社会の実現に貢献する

定量目標

	2025年3月期(実績)	2028年3月期(目標)
連結売上高	421.5億円	600億円以上
海外売上高比率	46.2%	50%以上
営業利益率	12.2%	12.5%以上
PBR	0.7	1.0
ROE	7.3%	8.5%
ROIC	6.1%	8.0%

前中期経営計画では、「世界中のガス事故をなくす」ための様々な投資を行いました。今中期経営計画期間には、それら投資の成果をガス事故が起こっているエリアや業界に的を絞り展開し、さらには将来に向けた拡張をしていきます。また、展開・拡張に必要な基盤づくりも同時に進めます。

新コスモス電機グループは、MEMSガスセンサ 技術を軸にグローバルに展開し、ガス事故ゼロと カーボンニュートラル社会の実現に貢献します。



中期経営計画検討委員会 委員長 大和 功

「中期経営計画2025-2027」の考え方

当中期経営計画期間は「展開と拡張」のための3年間とします。

これまでの「投資」の収益化を図る「展開」では主に北米向け電池式メタン警報器の市場拡大を、将来に向けた「拡張」としては主に 欧州におけるカーボンニュートラル(水素)市場の基盤づくり、新たな市場開拓に取り組みます。

中期経営計画2022-2024 中期経営計画2025-2027 展開 投 資 拡張 • 淀川工場開所 (投資の収益化) (将来に向けた新市場・新事業の基盤づくり) • メキシコ工場稼働 • 北米向け電池式メタン警報器の市場拡大 • 欧州を中心としたカーボンニュートラル • 台湾事務所現地法人化 • 半導体市場における売上拡大 (水素)市場の基盤づくり • 半導体市場向けガス検知器の ● MEMSガスセンサの量・質の充実 家庭用電池式LPガス・水素警報器の開発・普及 新製品開発 • パリ事務所設立 北米向け 半導体市場向け 淀川工場 電池式メタン警報器 ガス検知器 MEMSガスセンサ 車載用水素ディテクタ

「中期経営計画2025-2027」の戦略体系

新コスモス電機グループの基本となる考え方のもと、成長戦略として投資の収益化と将来に向けた拡張を図りつつ、それらを支える 基盤戦略を遂行します。 成長戦略

> グローバル市場における エリア別戦略の推進

新製品・サービス戦略の推進

新市場開拓のための 協業体制および土台づくり

次世代に対応したセンシング技術の確立 MEMSガスセンサの質・量の充実

基盤戦略

確立による技術強化

DX推進や人的資本経営による 組織体質強化

SDGsへの取組 (豊かな地球を子孫に残すための活動)

基本となる考え方

- 世界中のガス事故をなくす
- 安全・安心・快適な環境創りに貢献
- ●多様な人材が活躍でき、多様なアイデアや経験を活かすことができる土壌づくり

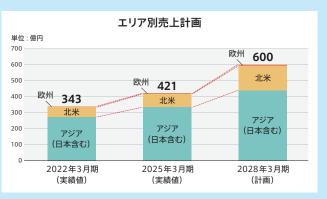
FOCUS ON

成長戦略 グローバル市場におけるエリア別戦略の推進

経営環境の変化に対応するため、グローバル市場を視野に入れ事業ポートフォリオを変革させます。

「中期経営計画2025-2027」は、展開と拡張の時期と位置づけ、主となる市場を日本国内中心から『北米、アジア(日本含 む)、欧州』の3エリアにシフトし、特に北米での成長軌道確立を目指します。







VOL. 11

一酸化炭素(CO)から命を守るために

一酸化炭素は毒性が強く、無色無臭のため気付かないうちに一酸化炭素中毒になる危険があります。 当社は、一酸化炭素を検知する各種製品の提供を通じ、一酸化炭素中毒事故防止に貢献しています。

一酸化炭素中毒 (CO中毒) の危険性

一酸化炭素濃度	吸入時間による中毒症状
400ppm	1~2時間で前頭痛や吐き気、2.5~3.5時間で後頭痛
1,600ppm	20分間で頭痛、めまい、吐き気、2時間で死亡
3,200ppm	5~10分間で頭痛、めまい、30分間で死亡
12,800ppm	1~3分間で死亡
1ppm=0.0001% 出典:	経済産業省ウェブサイトを基に作成

火災の早期発見に

一酸化炭素検知機能付き 火災警報器 PLUSCO

2011年より全ての住宅で火災警報器 の設置が義務化。煙に加え一酸化炭素 を検知することで、燻焼火災では従来 品より早く火災をお知らせ。



アウトドアを楽しむために

アウトドア用一酸化炭素アラーム COALAN

テント内やタープ内で炭火やストーブ、 発電機を使用する際に発生する一酸化 炭素を検知。防水・防塵構造かつ耐衝 撃·耐振動構造。





作業員の安全確保に

一酸化炭素計

製鉄所や鉄工所など一酸化炭素発生の リスクが高い産業の現場作業員が装着 するタイプ。



業務用厨房で

業務用換気警報器

一過性の一酸化炭素が発生しやすい 飲食店等の業務用厨房に特化。血中の 一酸化炭素ヘモグロビン(COHb)濃度 を推定し、人体に危険な環境に達する 前に警報をお知らせ。



トピックス

「HANNOVER MESSE 2025」に出展しました

3月31日~4月4日にドイツ・ハノーバーで開催された世界最大級の製造業向け国際見本市「HANNOVER MESSE 2025」に、グループ会社のフィガロ技研と共同で初出展しました。トヨタ自動車のMIRAI (ミライ)に採用されている車載用水素ディテクタをはじめ、新コスモス電機グループのガスセンサ、ガス検知警報器を紹介しました。当社ブースは盛況で、特に車載用水素ディテクタに注目が集まりました。



「トヨタイムズ」で世界初の家庭用電池式水素警報器が紹介されました

燃料電池自動車に搭載される高圧水素タンクを製造するトヨタ自動車の下山工場では、元々廃棄されていた出荷検査等で使用する水素を有効活用する取り組みとして、社員食堂に「水素グリル」が導入されました。その食堂の厨房に、当社が海外でサンプル品として販売している家庭用電池式水素警報器を安全対策として設置いただいており、トヨタイムズで紹介されました。





該当動画はこちらからご確認ください (YouTube トヨタイムズチャンネル 2025年2月10日)



家庭用電池式水素警報器 HL-310

Pick up!

目



品

エネルギー業界の安全を守る濃度表示機能付ガス検知部「PD-12」

LNG基地や火力発電所をはじめエネルギー業界の各種施設では、定置式ガス検知警報器が可燃性ガスの漏えいを常時監視しています。その一つであるポンプ吸引式のガス検知部「PD-12」は、ガス導入管を検知場所まで伸ばすことで、高所や狭所などの人の手が届かない場所でのガス検知を可能にします。また、濃度表示機能付きなので現場でもガス濃度・警報状態が一目でわかり、作業員の安全確保に役立ちます。さらに水素防爆にも対応しており、水素ステーションにて水素充填時に使用するディスペンサー部の漏えい検知に使用されています。

2025年4月から開催されている関西・大阪万博の会場にも当社のガス検知器が800点以上設置されており、PD-12は地下ピット等に設置され、地中から発生するメタンを監視し、会場内の安全・安心を守っています。



インダストリ営業本部 西日本営業部 森 竜平



ネットワーク (2025年4月1日現在)

 当社
 当社グループ

 国内事務所
 17ヵ所
 国内
 5社

 海外事務所
 2ヵ所
 海外
 10社





工場·研究所

会社沿革 売上高推移



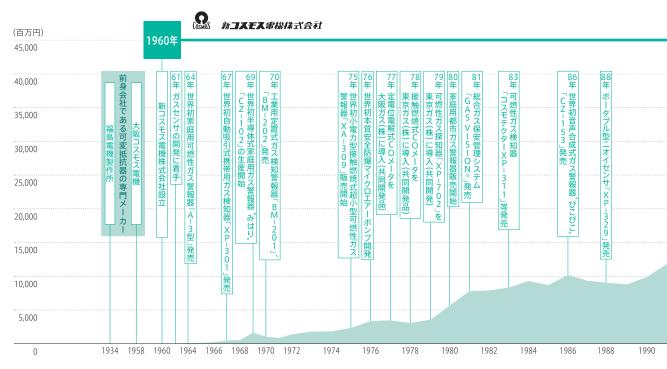
笠原 理一良 1960~2001 代表取締役社長 2001~2002 代表取締役会長



重盛 徹志
2001~2017
代表取締役社長
2017~2020
代表取締役会長
2020
取締役会長
2020~
相談役(現任)

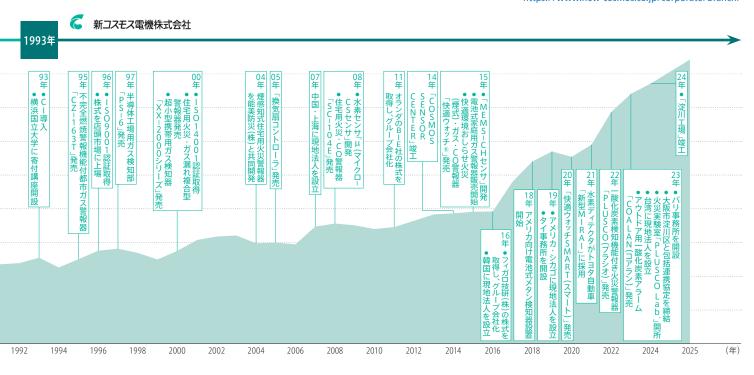


髙橋 良典 2017~ 代表取締役社長 (現任)





□ 拠点の住所はWEBサイトをご覧ください。 https://www.new-cosmos.co.jp/corporate/branch/



企業理念

会社概要

経営理念 一コスモス スピリットー

コスモスは、未来を自らの手で創る人々の集団である。

コスモスは、現状に満足することなく、

常に未知の可能性に挑戦する創造と向上の精神を尊重する。

コスモスは、関係する全ての人々の利益を尊重し、

全員の衆智によって経営される。

コスモスは、社員に自己の適性に応じた価値ある仕事と

成長していく実践の場を与える。

コスモスは、常に価値ある商品を生み出し

社会生活の向上に貢献する。

コスモスの使命

「コスモスはセンサテクノロジーで、

安全・安心・快適な環境創りに貢献する」

社是

「自主·自力·創造·執念·感謝」

社名 新コスモス電機株式会社

本社 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4

創業 1934年(昭和9年)5月

設立 1960年(昭和35年)6月15日

株式公開 1996年(平成8年)11月

上場市場 東京証券取引所 スタンダード市場

事業内容 家庭用ガス警報器、住宅用火災警報器、

工業用定置式ガス検知警報器、携帯用ガス検知器、ニオイセンサ、空気質検知等製品の研究、開発、

製造、販売およびメンテナンス

資本金 14億6,000万円

従業員数 単体473名 (2025年3月31日現在)

決算期 3月31日

主な取引銀行 三菱UFI銀行/みずほ銀行/三菱UFI信託銀行

